岩手大学保健管理センターから保護者の皆様へのお知らせ

極端な成績不振の背景には不登校がある可能性があります。

不登校のおもな背景としては以下が考えられます。それぞれが結びついて大学に行かなくなる場合が多いです。

●不規則な一人暮らし生活

深夜までネットやゲームで遊んだりアルバイトで寝るのが遅くなると，当然朝に起きられません。そういう生活が続くと昼夜逆転して大学に行かないのが当たり前になります。

●学ぶ意欲の低下

大学は，勉強の内容も学び方も高校までとは違います。大学合格に代わる新たな学ぶ意味を見いだす必要もあります。大学の勉強に適応できなかったり，学ぶ目的を失って講義に来なくなるケースが少なくありません。

●友人関係がつくれない

大学は高校までのようなクラスはありませんし，友人をつくるには自分から話しかけたり，サークルに入るなどの積極性が必要です。「友人をつくりたいのにできない。周りが楽しそうにしている中，一人で講義を受けていると孤独でつらい」と感じて大学から遠ざかっていきます。

●心の健康の問題

上記のような理由で不登校状態が長期間続けば，心の健康を損ねて，場合によっては医療機関を受診する必要が生じます。「まったく外出しないで引きこもっている」「性格や言動が変わった」「部屋が異様に汚い」「不眠や食欲不振等の体調不良がある」といったことがサインになります。また，高校の時から不登校だったり精神的に不安定な場合，大学で一人暮らしを始めて悪化する場合もあります。

●まずは話を聞くなどして状況を把握してください

不登校の可能性がある場合，まず連絡をとって事情を聞いてあげてください。可能であれば盛岡にいらしていただいて直接会って話した方が様子がわかります。多くの学生は学校に行っていないことを極力親に隠しますので，これまで不登校を隠していたことについては強く責めない方がよいと思います。

●保健管理センター学生相談室にご相談ください

本人に当センターの学生相談室への相談を勧めてもけっこうですし，保護者の皆様が「どう対応したらいいかわからない」「心配なことがある」という時もご相談ください。カウンセラーは常勤で男女１名ずつ配置されています。

場　所：　学生センターＡ棟２Ｆ
開室時間：　平日の９時～１７時
電　話：　019-621-6090
メール：　gakusou2@iwate-u.ac.jp